

人生100年時代の就職力を身に付けながら いつの時代にも対応できる保育者を養成する

教育の連鎖で

「保育の宝仙」として知られる

保育者養成に特化した4年制の保育単科大学で、「品格と知性を兼ね備えた人を造る」ことを建学の精神に掲げています。本学で学び、品格と知性を身に付けた保育者の皆さんが、次世代のことも達を育てるという「教育の連鎖」を通じ、社会に貢献することを使命としています。本学は「保育の宝仙」として知

られるようになりました。

時代は大きく変化しています。ライフプランも様変わりするでしょう。人生100年時代においては、働き続けられる力を身に付けることが重要です。本学では時代の変化も見据え、AI時代にも通用する就職力を身に付けた人材を育成しています。保育者はAI時代に残る仕事の代表格です。幼稚園教諭1種免許や保育士資格を取得する本学の教育は、就職力を確かなものにします。

さらに、本学が育成する人材は、コミュニケーション力があり、適切な判断力を持ち、知識や技法を駆使・向上できる、社会人としての基礎力を備えた人材です。保育者のみならず、色々な職業への就職力も高めることができます。

学生ファーストを

徹底する体制を更に充実

「優れた保育者を育てる」ために取り組んでいる、VISION「こども教育HOSENON」も発展させています。「実践教育」「一人ひとりに寄り添う教育」「保育の宝仙を受け継ぐ教育」という3つのWAY（道筋）に沿った教育改革は、第2ステージに入りました。

実践教育では、保育現場を知る体験学習から、保育、教育実習につながる実習プログラム、音楽、造形、身体表現の表現教育等が高い評価を得ています。また1年次からスタートする



新宿から15分。千年近くの歴史をもつ宝仙寺が近くにあり、都心にいながら落ちついた雰囲気を感じられます。

ゼミナールでは、担当アドバイザー教員が、一人ひとりに寄り添って指導しています。

そして4年間通してキャリアデザイン・プログラムも提供。本年度からは実習・キャリアサポートセンターも開設し、実習から就職まで「保育の宝仙」を受け継ぎ、保育単科大学ならではのトータルサポートをしています。これらは全て「学生ファースト」を基本に置いた取り組みです。

こうした取り組みが評価され、大学ランキングでは、幼稚園就職率全国第1位、保育士就職率第3位（朝日新聞出版「大学ランキング2023」より）という好成绩を取っています。今後、さらに存在感あふれる保育単科大学を作り上げていきます。



太田 誠一 学長

おおた・せいいち / 1978年神戸大学法学部卒業。教育職員免許（中高社会）取得。同年住友海上火災保険（現・三井住友海上火災保険）入社。取締役、専務執行役員等を歴任。2017年退任。同年7月こども教育宝仙大学副学長に就任。2019年4月から現職。2021年早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了。